

熊本県で 高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜を確認

4月13日、熊本県の肉養鶏農場①において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

当該農場の飼養管理者は別農場②の管理もおこなっていたため、当該別農場も疑似患畜の発生農場と判定されています。

農場①発生疑い農場

熊本県球磨郡(くまぐん)多良木町(たらぎまち)

肉用鶏(約5万6千羽)

農場②飼養者が同一の農場

熊本県球磨郡(くまぐん)相良村(さがらむら)

肉用鶏(約5万6千羽)

【状況】

- ・12日午後、熊本県は当該農場①から死亡鶏増加等の通報を受けて農場①の立ち入り検査を実施
- ・簡易検査 死亡鶏5羽中5羽で陽性
- ・熊本県は家きん等の移動制限を指示(農場① および② について)
- ・13日遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であることを確認

農場出入口の消毒の徹底など、飼養衛生管理基準の遵守徹底と異常鶏を確認した場合の早期通報をお願いします